

令和5年度

竹原中心市街地まちづくりビジョン策定及び複合施設整備に係る
市民アンケート報告書（一般市民）

令和6年5月

1. 市民アンケート調査票の作成

『中心市街地』の各エリアについて、【まちづくりの方向性】や【過ごし方のイメージ】を把握するため実施した。

(1) アンケート調査票の作成

中心市街地地区の都市デザインの将来像に関する調査票を作成した。以下に設問と設問の狙い、次ページに作成した調査票を示す。

■設問と狙い

	設問	設問の狙い
回答者の属性	性別	回答者の属性の把握
	年齢	
	居住地	
	勤務先	
	居住年数	
中心市街地の状況	中心市街地のまちづくりの方向性	中心市街地のまちづくりの方向性や必要な取組を把握し、各エリアの位置づけや活用イメージを明らかにする。
	中心市街地での過ごし方のイメージ	
	具体的な使い方 ※跡地に必要な機能・施設	
	複合施設のターゲット	複合施設整備の際のコンセプトにつなげる。
	活用にあたって、気を付けること	跡地活用を実際に行っていく際に、留意すべき事項を明らかにする
市役所周辺エリアの利用状況	市役所周辺のエリアを訪れる理由	市民が地区を訪れる頻度・理由・手段等を、地区の現状として把握する ・(頻度・滞在時間：都市再生の指標案)
	市役所周辺のエリアを訪れる頻度	
	市役所周辺のエリアを訪れる手段	
	市役所周辺のエリアへ誰と訪れるか	
	市役所周辺のエリアにどのくらい滞在するか	
その他	ウォーカブルの認知度	ウォーカブルの認知度やウェルネスに向けた現状を把握する。 ・(歩行時間：都市再生の指標案)
	一日の歩行時間	
	ウォーキングの目的	
	普段よく歩く場所	
	歩きたくなる空間づくりに向けた取組	
	自由回答	テキストマイニングにより跡地活用に関するキーワード抽出

2. 集計・分析

回収した調査票の集計を行い、市民意向を分析し、市民アンケート調査結果をとりまとめた。
アンケート結果の概要を以下に示す。

アンケート調査の概要

調査目的

- 『中心市街地』の各エリアについて、【まちづくりの方向性】や【過ごし方のイメージ】を把握するため実施

配布数/回収数

- 配布数：2,000部 回収数：600部（郵送：522部、WEB回収：78部）【回収率30.0%】

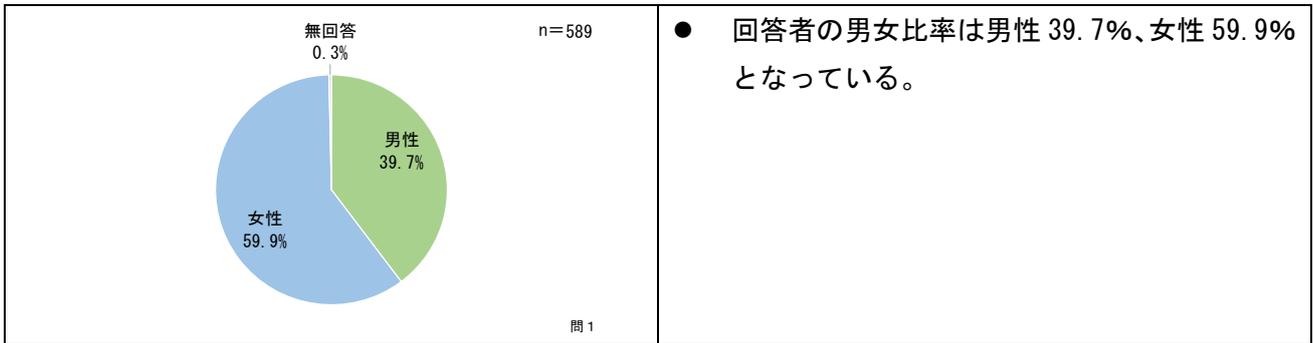
配布方法/回収方法

- 配布：郵送配布 回収：郵送回収・WEB回収

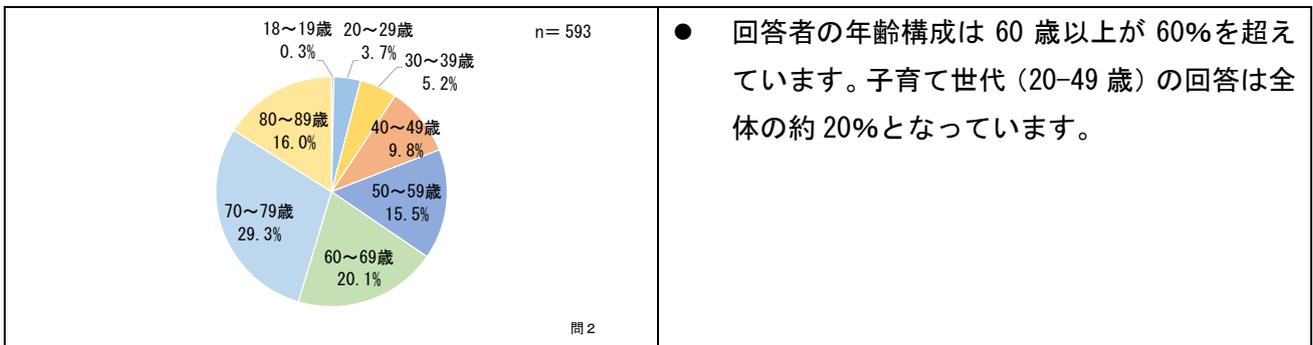
単純集計

あなた自身のことについておたずねします。

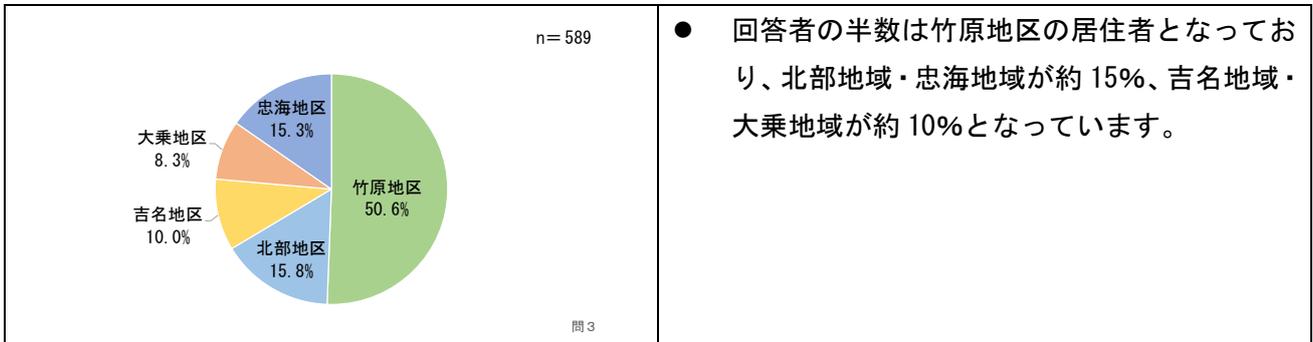
問1 あなたの性別をお聞かせください。該当する番号に○をつけてください。



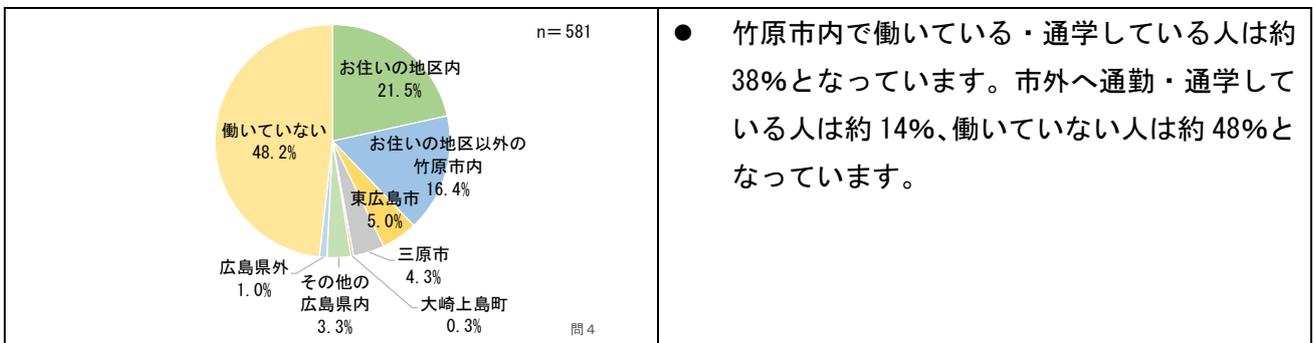
問2 あなたの年齢をお聞かせください。該当する番号に○をつけてください。



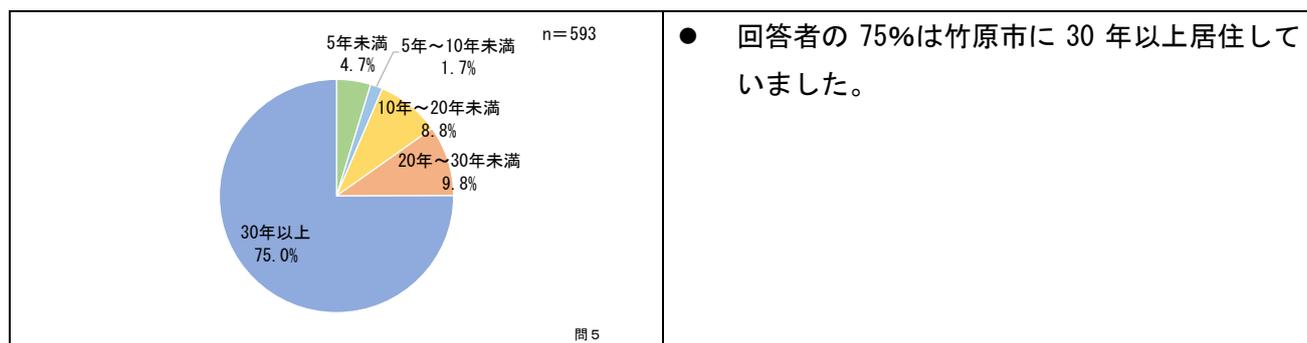
問3 あなたのお住まいはどこですか。該当する番号に○をつけてください。



問4 あなたの通学先・勤務先はどこですか。該当する番号に○をつけてください。



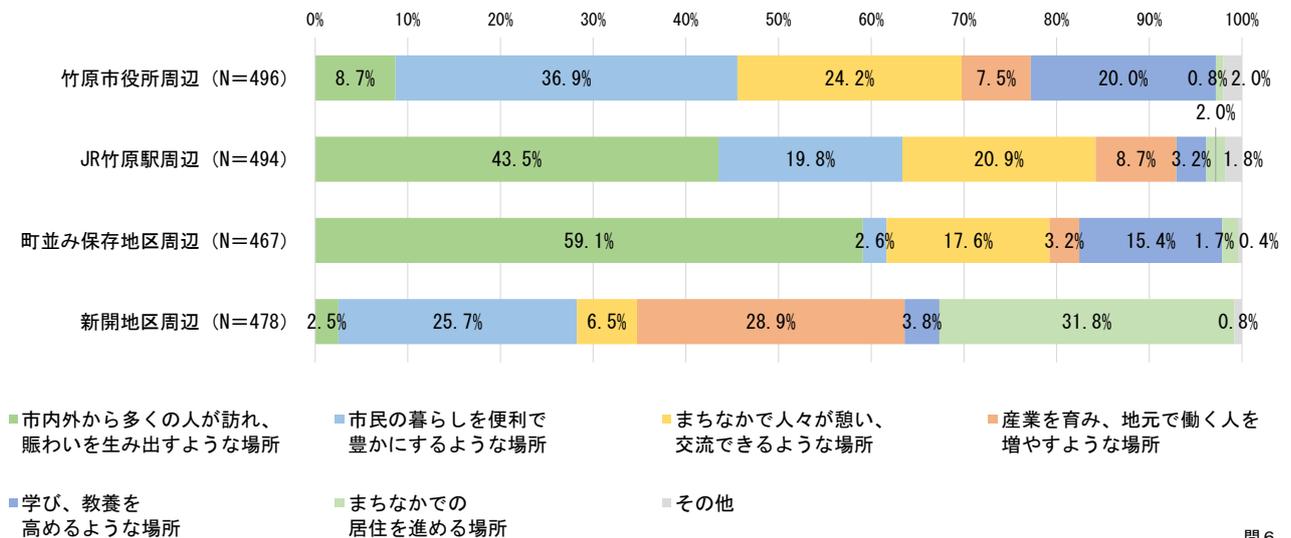
問5 あなたは竹原市に住んで何年になりますか。該当する番号に○をつけてください。※市外に出られた経験のある方は合計の年数



これからの竹原市の中心市街地のまちづくりについてお聞きします。

問6 各エリアの将来のまちづくりの方向性は、どのようなものが望ましいとお考えですか。選択肢から該当する番号を1つ選んでご記入ください。

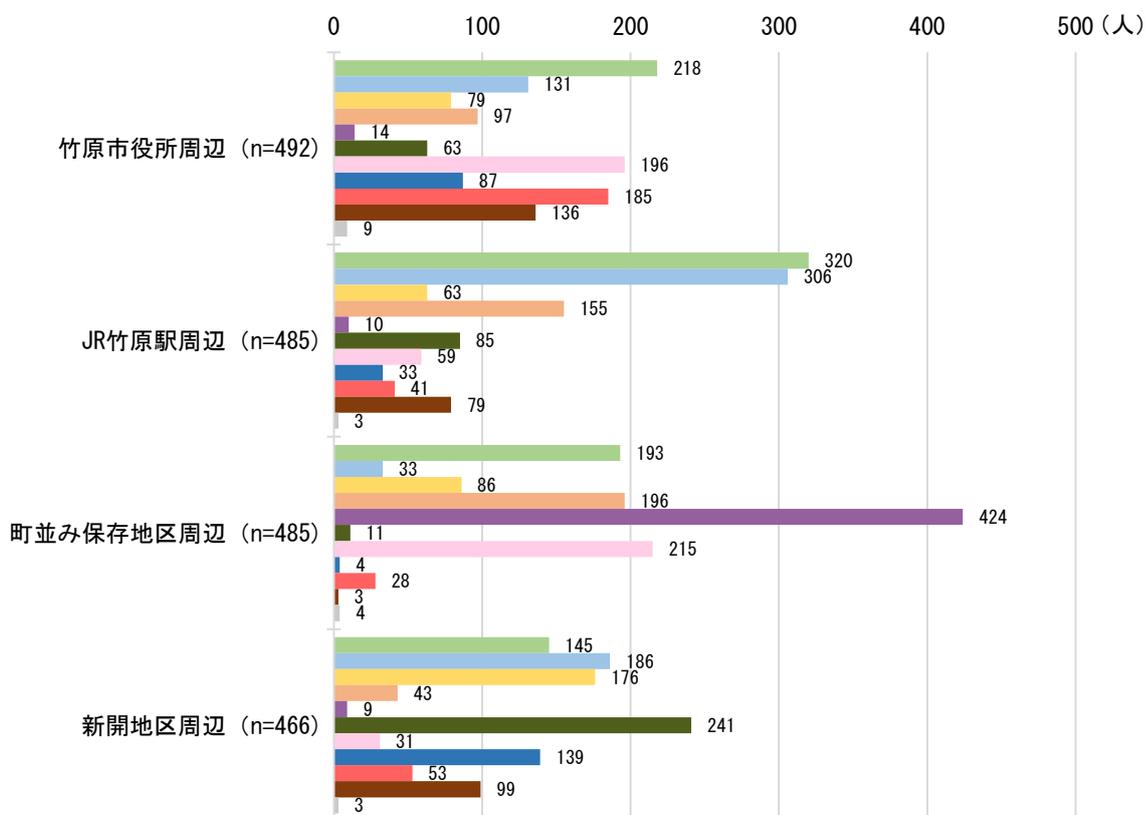
- 竹原市役所周辺のまちづくりの方向性として、「市民の暮らしを便利で豊かにする場所」「まちなかで人々が憩い、交流できるような場所」が望まれています。
- JR竹原駅周辺のまちづくりの方向性として、「市内外から多くの人を訪れ、賑わいを生み出すような場所」「まちなかで人々が憩い、交流できるような場所」が多く望まれています。
- 町並み保存地区周辺のまちづくりの方向性として、「内外から多くの人を訪れ、賑わいを生み出すような場所」が特に強く望まれており、次いで「まちなかで人々が憩い、交流できるような場所」となっている。
- 新開地区周辺のまちづくりの方向性として、「まちなかでの居住を進める場所」「産業を育み、地元で働く人を増やすような場所」が多く望まれています。



問6

問7 各エリアでは、将来、どのような過ごし方をしたいとお考えですか。選択肢から該当する番号を3つまで選んでご記入ください。

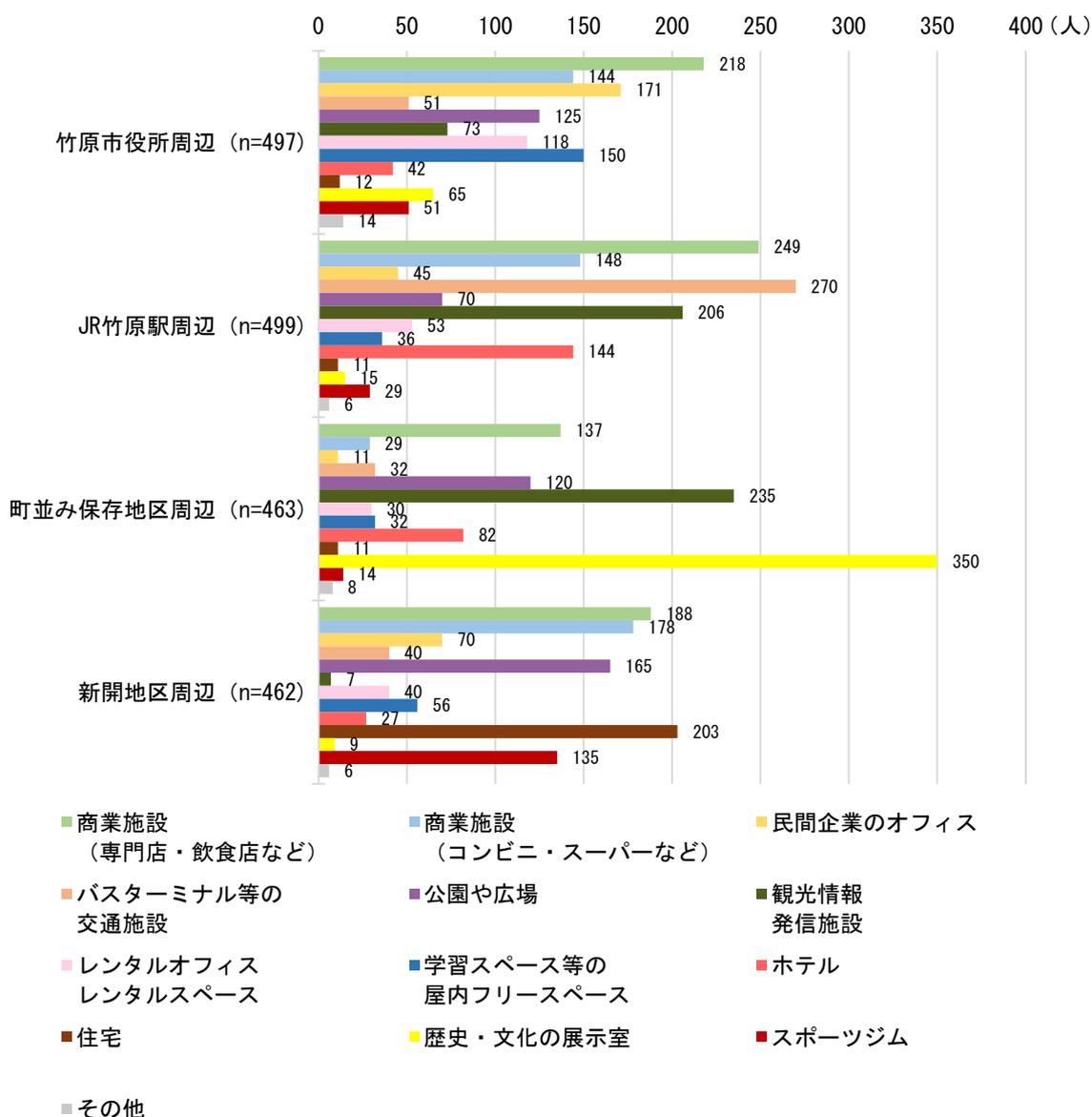
- 竹原市役所周辺の将来の過ごし方として、「カフェやレストラン等で食事を楽しむ」「アートや音楽等を楽しむ」「職場等とは違う空間で仕事等をする」が多く望まれています。
- JR竹原駅周辺のまちづくりの方向性として、「カフェやレストラン等で食事を楽しむ」「地元のショップで買物をする」が多く望まれています。
- 町並み保存地区周辺のまちづくりの方向性として、「古い建物や歴史的なスポットを見学する」が特に強く望まれており、次いで「アートや音楽等を楽しむ」となっている。
- 新開地区周辺のまちづくりの方向性として、「利便性の高い地域で暮らす」「地元のショップで買物をする」「公園や広場で散歩やピクニックをする」が多く望まれています。



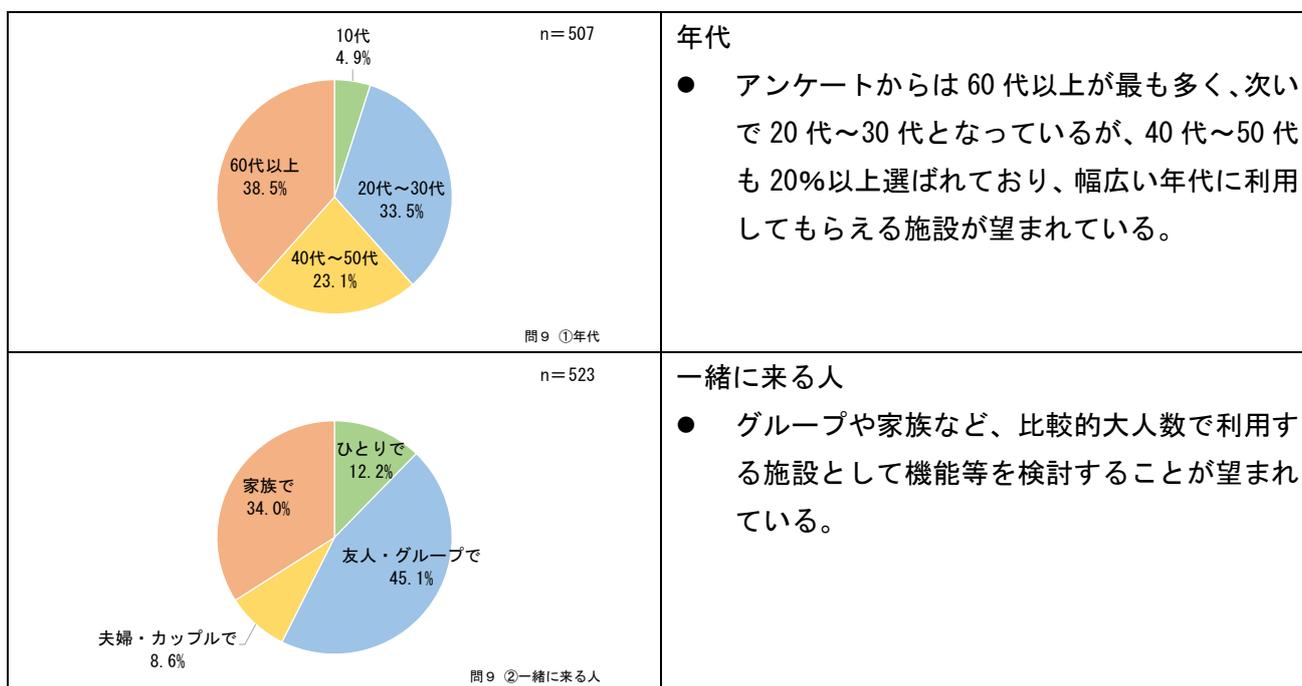
- カフェやレストランで食事等を楽しむ
- 地域のイベントや祭りに参加する
- アートや音楽等を楽しむ
- 商業施設や事務所等で仕事をする (働きたい)
- 地元のショップで買物をする
- 古い建物や歴史的なスポットを見学する
- スポーツ等のアクティビティを楽しむ
- その他
- 公園や広場で散歩やピクニックをする
- 利便性の高い地域で暮らす (住む)
- 職場 (学校) とは違う空間で仕事 (勉強) をする

問8 今後、上記の過ごし方を行う上で、各エリアにどのような施設や機能が必要だとお考えですか。
 選択肢から該当する番号を3つまで選んでご記入ください。

- 竹原市役所周辺に必要だと考える施設や機能は、「商業施設（専門店・飲食店など）」「民間のオフィス」「学習スペース等の屋内フリースペース」が多く挙げられます。
- JR竹原駅周辺に必要だと考える施設や機能は、「バスターミナル等の交通施設」「商業施設（専門店・飲食店など）」「観光情報発信」が多く望まれています。
- 町並み保存地区周辺に必要だと考える施設や機能は、「歴史・文化の展示室」が特に強く望まれており、次いで「観光情報発信」となっている。
- 新開地区周辺に必要だと考える施設や機能は、「住宅」「商業施設（専門店・飲食店など）」「商業施設（コンビニ・スーパーなど）」「公園や広場」が多く望まれています。

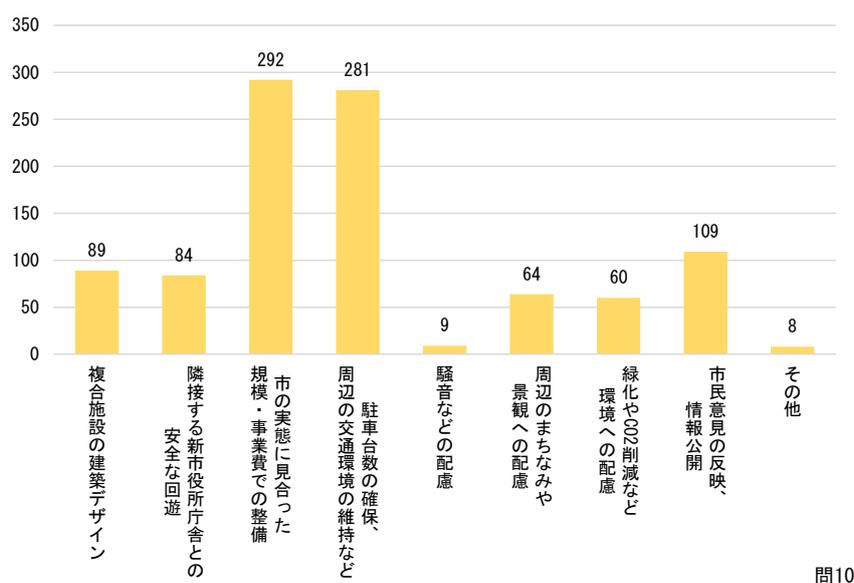


問9 整備する複合施設は、日常的に多くの市民が利用する施設として考えています。こういった人に主に利用してもらいたいとお考えですか。各項目から該当する番号を1つ選んで○をつけてください。



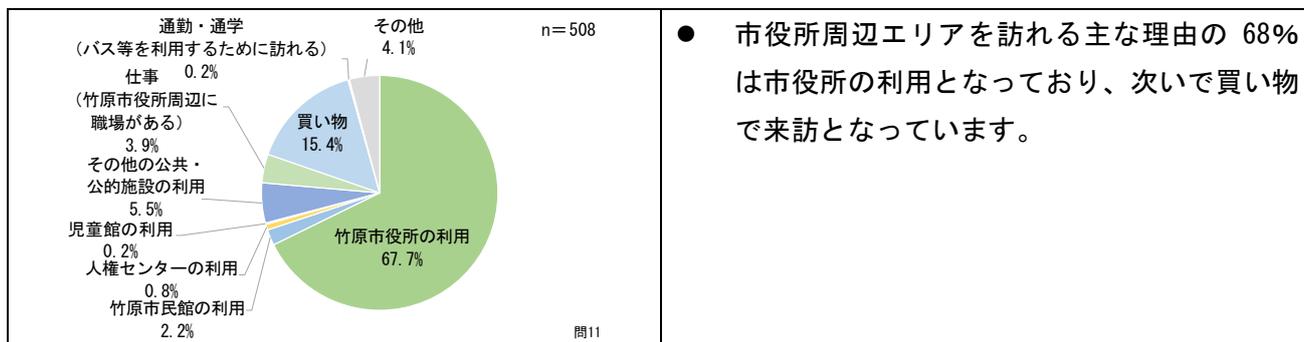
問10 今後、市役所移転後の跡地へ複合施設を整備する際、特にどのようなことを重視すべきとお考えですか。該当する番号を2つまで選んで○をつけてください。

- 整備の際に留意する事項として、『市に実態に見合った規模・事業費での整備』『駐車台数の確保、周辺の交通環境の維持』が特に懸念されています。

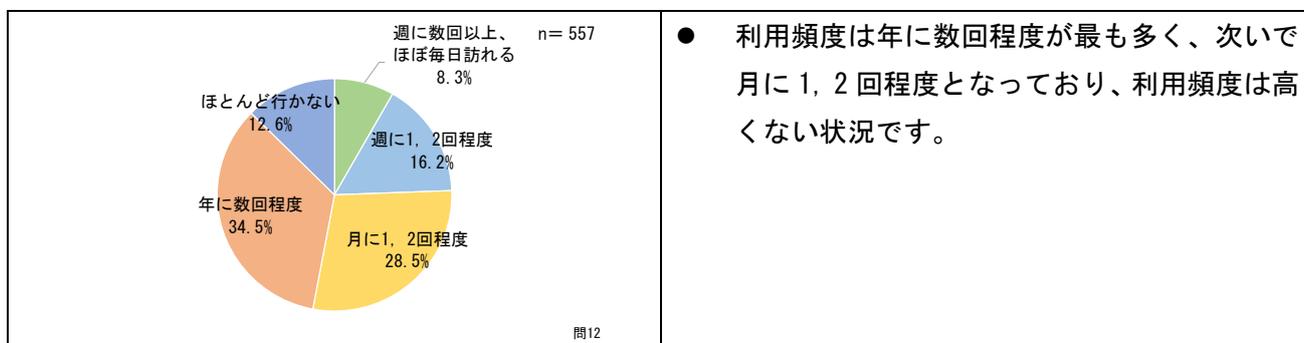


現在の市役所周辺のエリアの利用状況についてお聞きします。

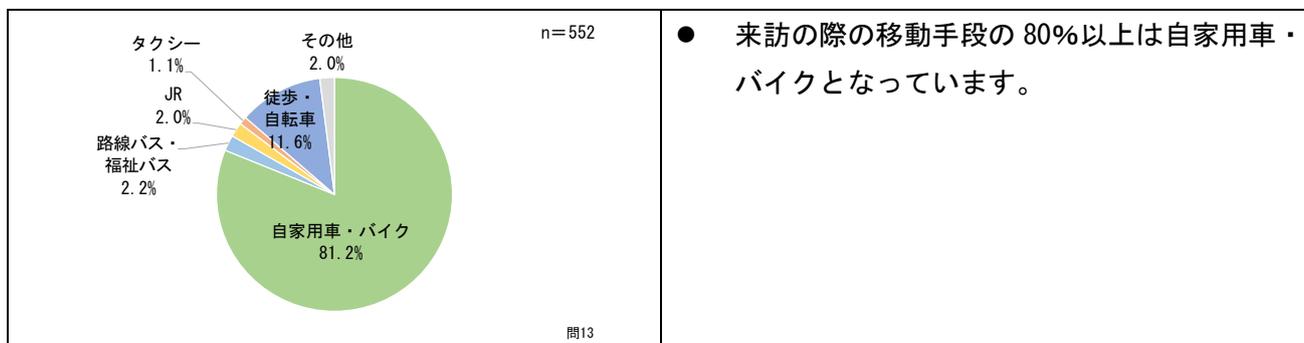
問 11 普段、市役所周辺のエリアに主にどのような理由で訪れますか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。



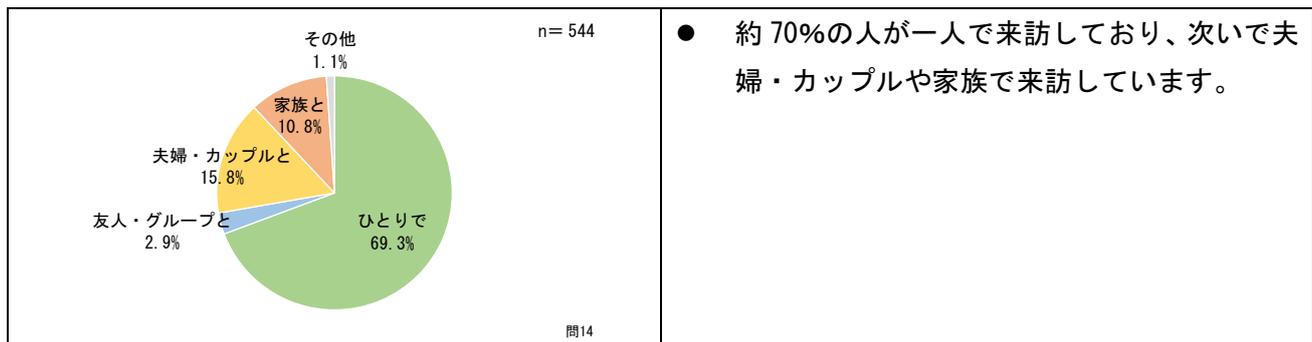
問 12 普段、市役所周辺のエリアにどのくらいの頻度で訪れますか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。



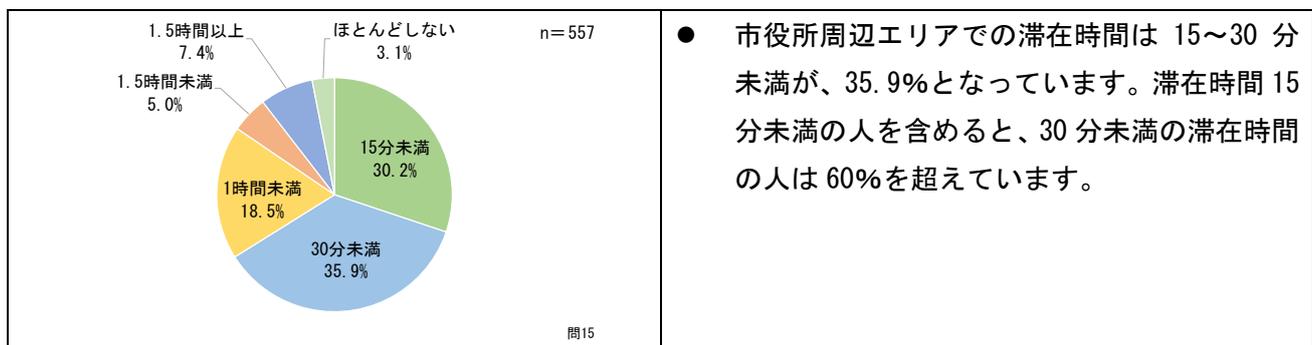
問 13 普段、市役所周辺のエリアに主にどうやって訪れますか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。



問 14 普段、市役所周辺のエリアに主に誰と訪れますか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

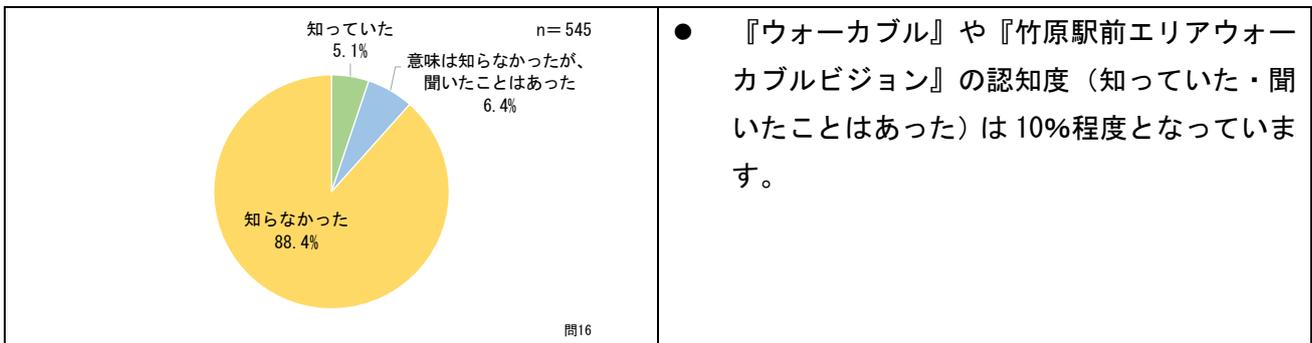


問 15 普段、市役所周辺のエリアを訪れた際、概ねどのくらい滞在しますか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。



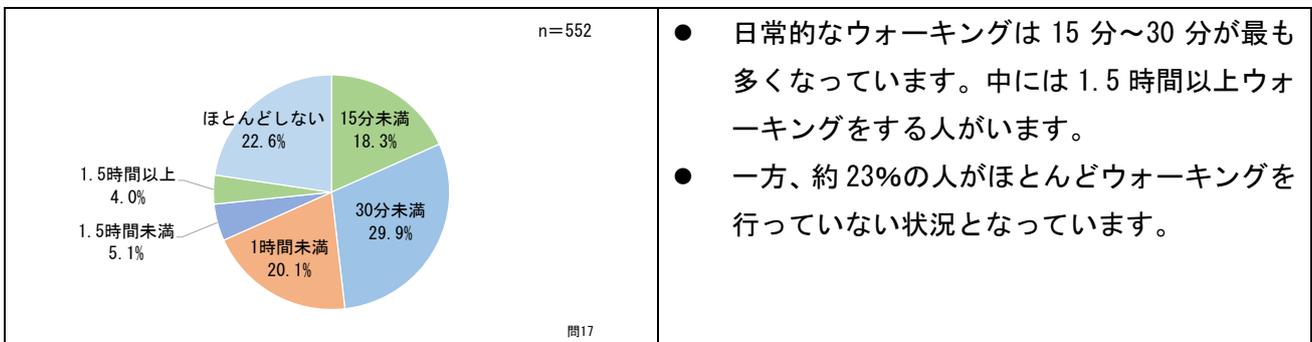
その他

問 16 これまでに『ウォーカブル』や『竹原駅前エリアウォーカブルビジョン』をご存じでしたか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。



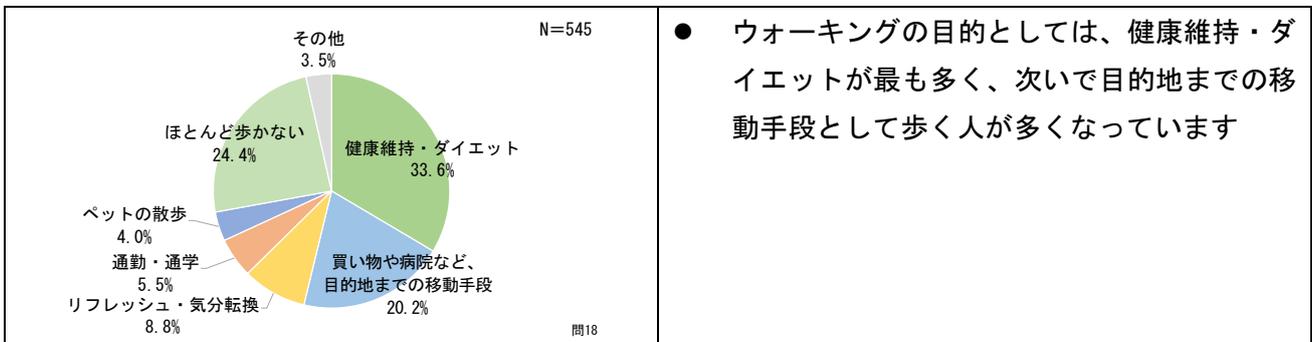
- 『ウォーカブル』や『竹原駅前エリアウォーカブルビジョン』の認知度（知っていた・聞いたことはあった）は10%程度となっています。

問 17 日常生活において、1日あたりどの程度ウォーキング（通勤・通学等を含む）を行いますか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。



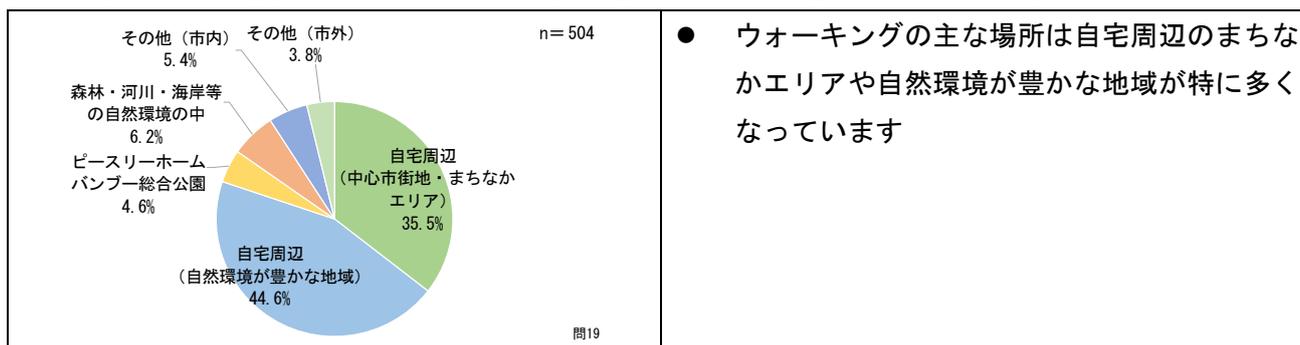
- 日常的なウォーキングは15分～30分が最も多くなっています。中には1.5時間以上ウォーキングをする人がいます。
- 一方、約23%の人がほとんどウォーキングを行っていない状況となっています。

問 18 普段、どのような目的でウォーキングを行いますか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

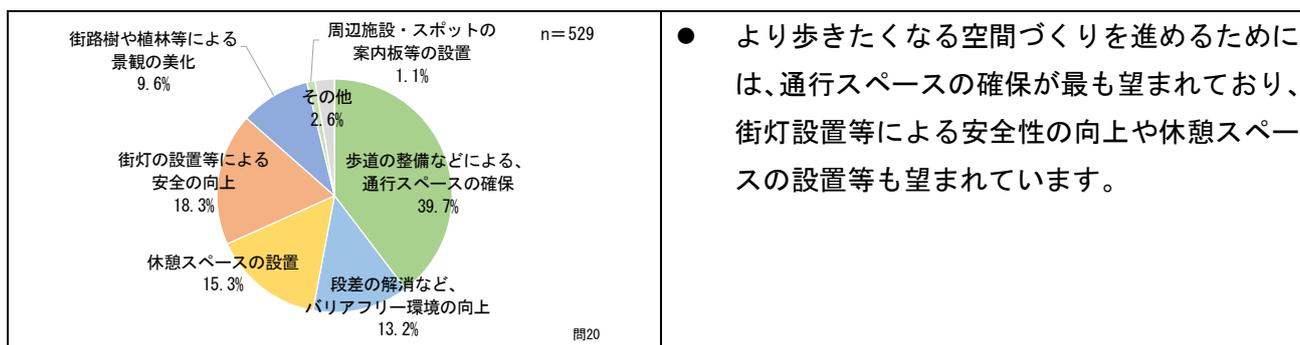


- ウォーキングの目的としては、健康維持・ダイエットが最も多く、次いで目的地までの移動手段として歩く人が多くなっています

問 19 普段、どこを歩きますか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。



問 20 今後、より歩きたくなる空間づくりを進めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。



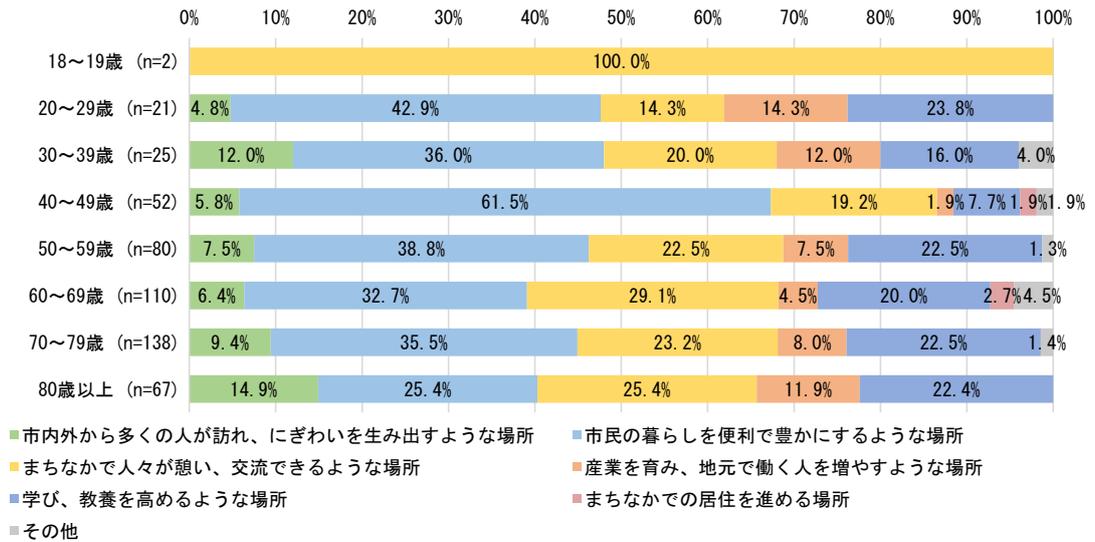
クロス集計

<年齢別>

問6 将来のまちづくりの方向性は、どのようなものが望ましいとお考えですか。

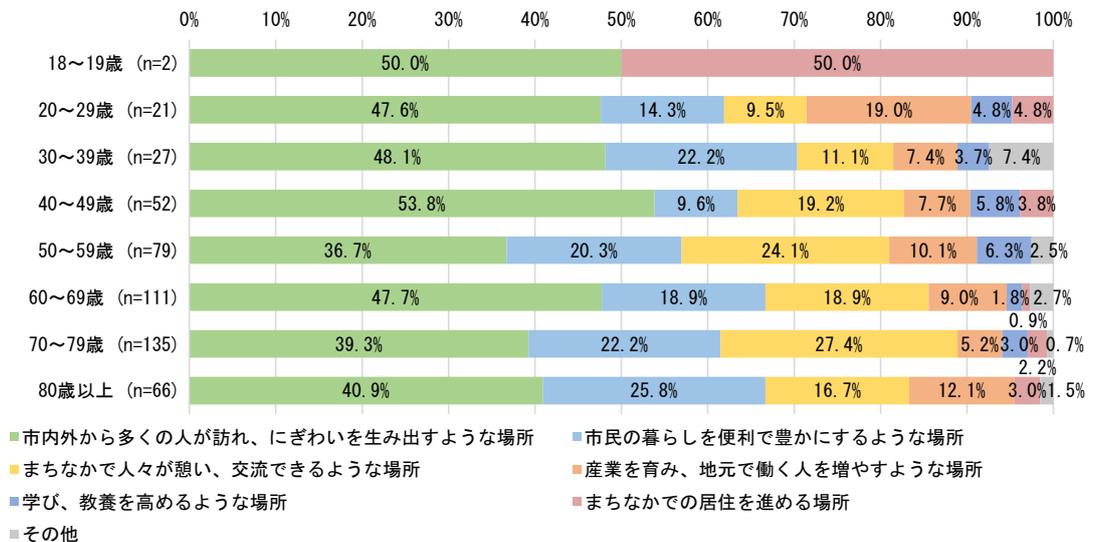
竹原市役所周辺

- 各世代とも「市民の暮らしを便利で豊かにするような場所」が最も多くなっている。
- 年齢があがるにつれて、「市内外から多くの人が訪れ、にぎわいを生み出すような場所」の割合が高まっている。



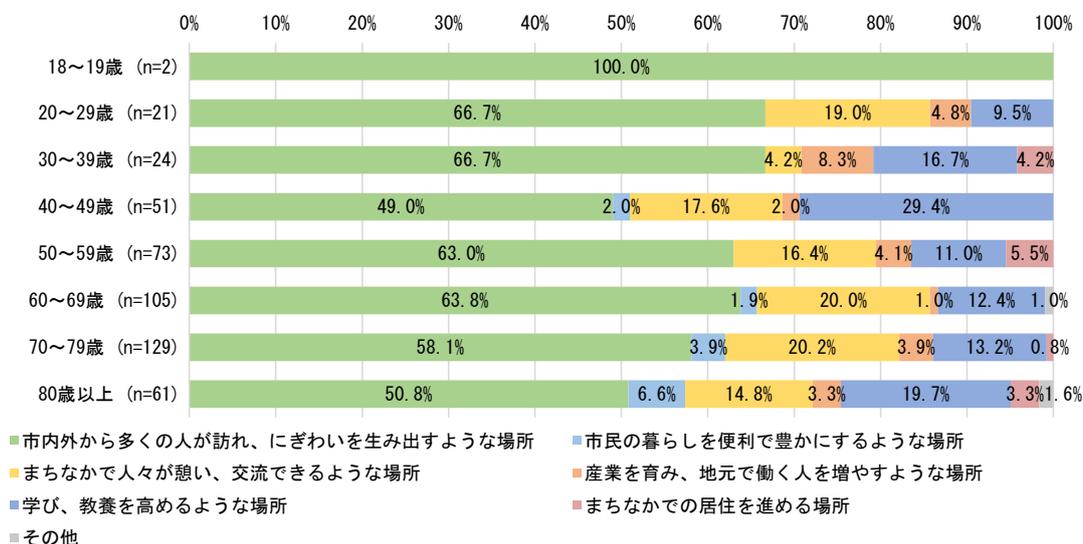
JR 竹原駅周辺

- 各世代とも「市内外から多くの人が訪れ、にぎわいを生み出すような場所」が最も多くなっている。
- 20歳代の方は「産業を育み、地元で働く人を増やすような場所」を望む意見が他の世代と比べ高くなっている。



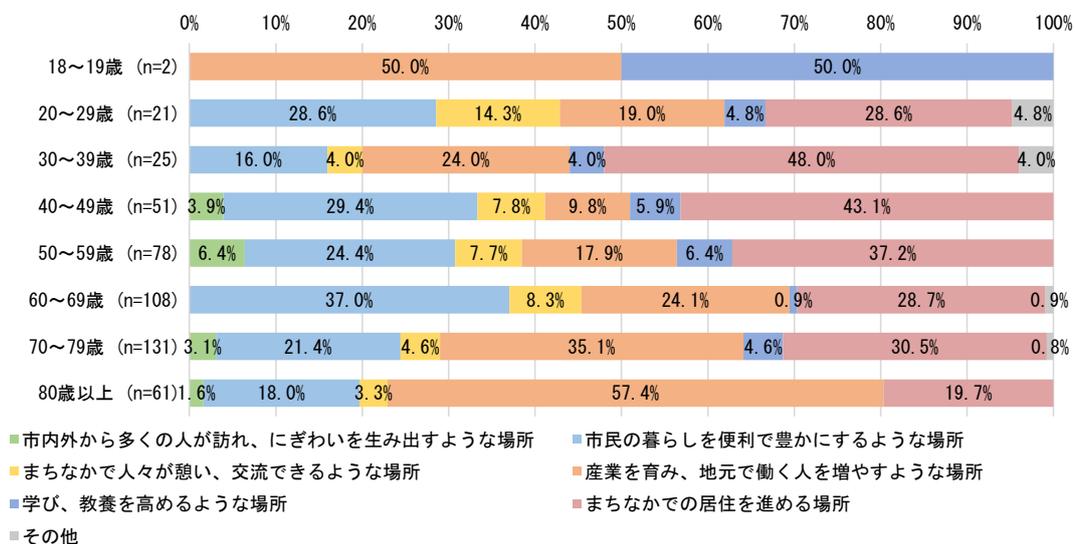
町並み保存地区周辺

- 各世代とも「市内外から多くの人を訪れ、にぎわいを生み出すような場所」が最も多くなっている。
- 40歳代の方は「学び、教養を高めるような場所」を望む意見が他の世代と比べ高くなっている。一方、「市内外から多くの人を訪れ、にぎわいを生み出すような場所」は同年代の回答者の半数以下になっている。



新開地区周辺

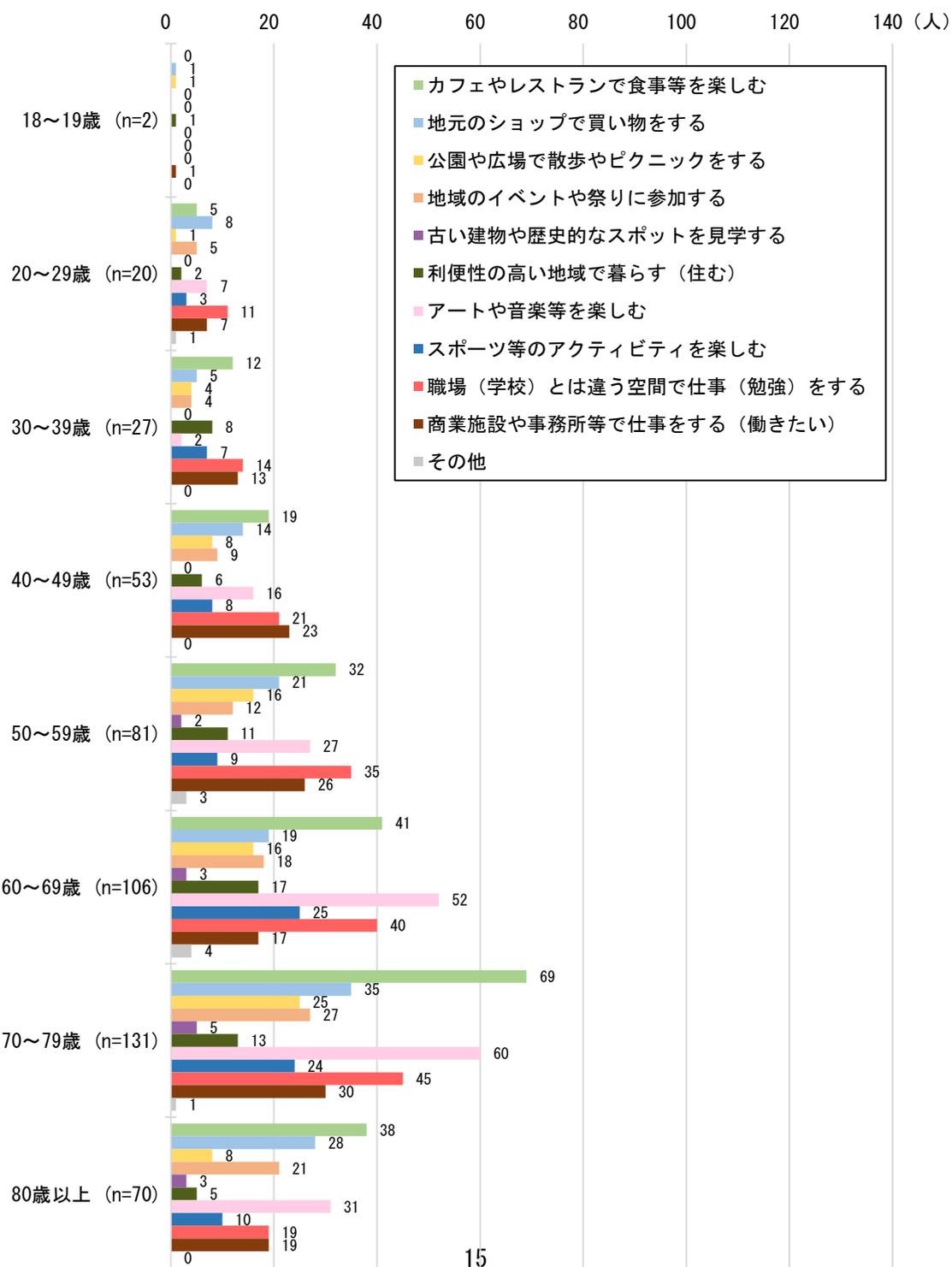
- 「産業を育み、地元で働く人を増やすような場所」は年齢があがるにつれて、高まる傾向にある。
- 「街中での居住を進める場所」は年齢があがるにつれて、低下する傾向にある。



問7 将来、どのような過ごし方をしたいとお考えですか。

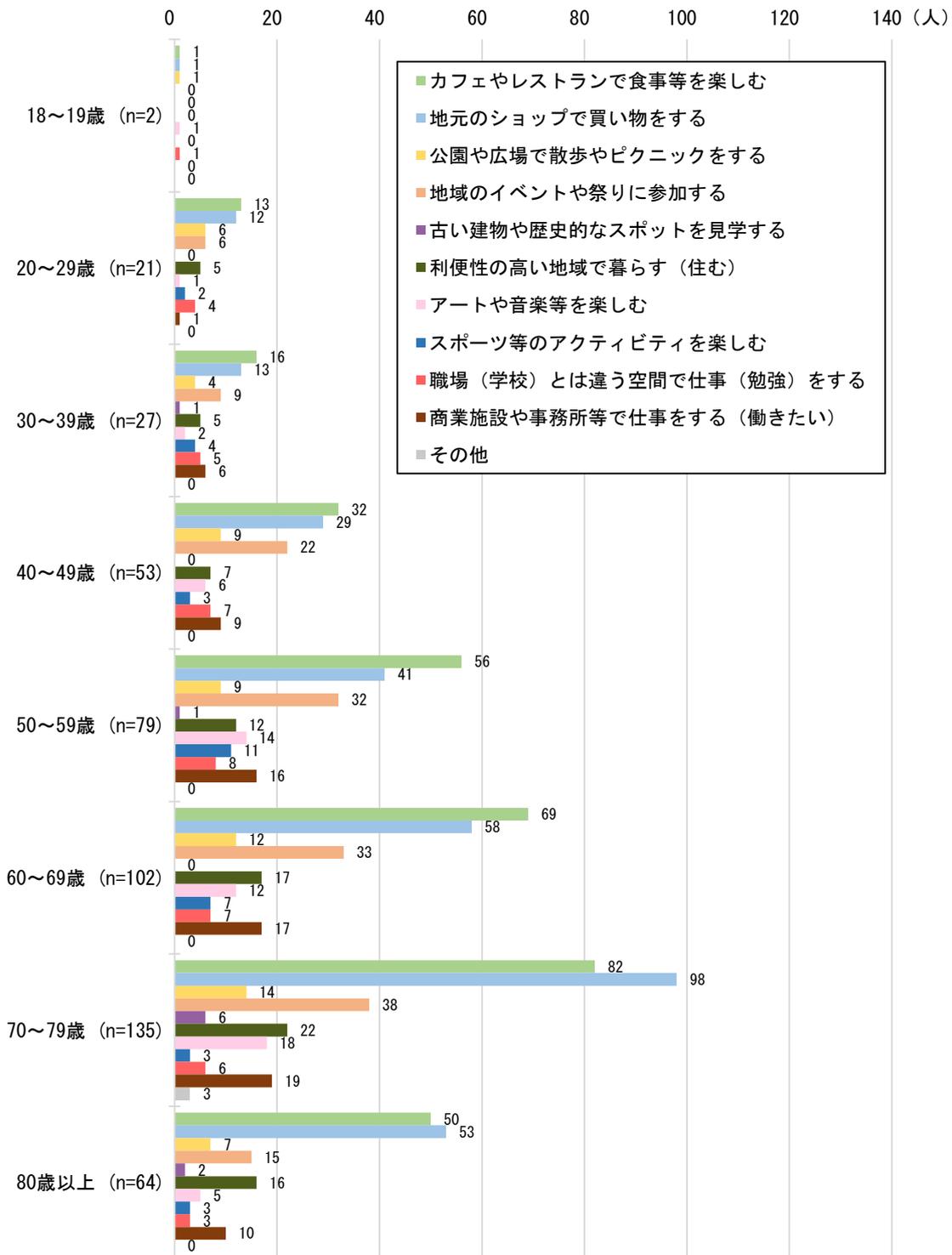
竹原市役所周辺

- 各世代とも「カフェやレストランで食事等を楽しむ」「職場（学校）とは違う空間で仕事（勉強）をして過ごしたい」「商業施設や事務所等で仕事をする（働きたい）」と考えている人が多い傾向にある。
- 20～39歳の主に働く世代の人は「職場（学校）とは違う空間で仕事（勉強）をして過ごしたい」と考えている人が多い。
- 70歳以上の人は「カフェやレストランで食事等を楽しみたい」「地元のショップで買い物をした」と考えている人が多い。



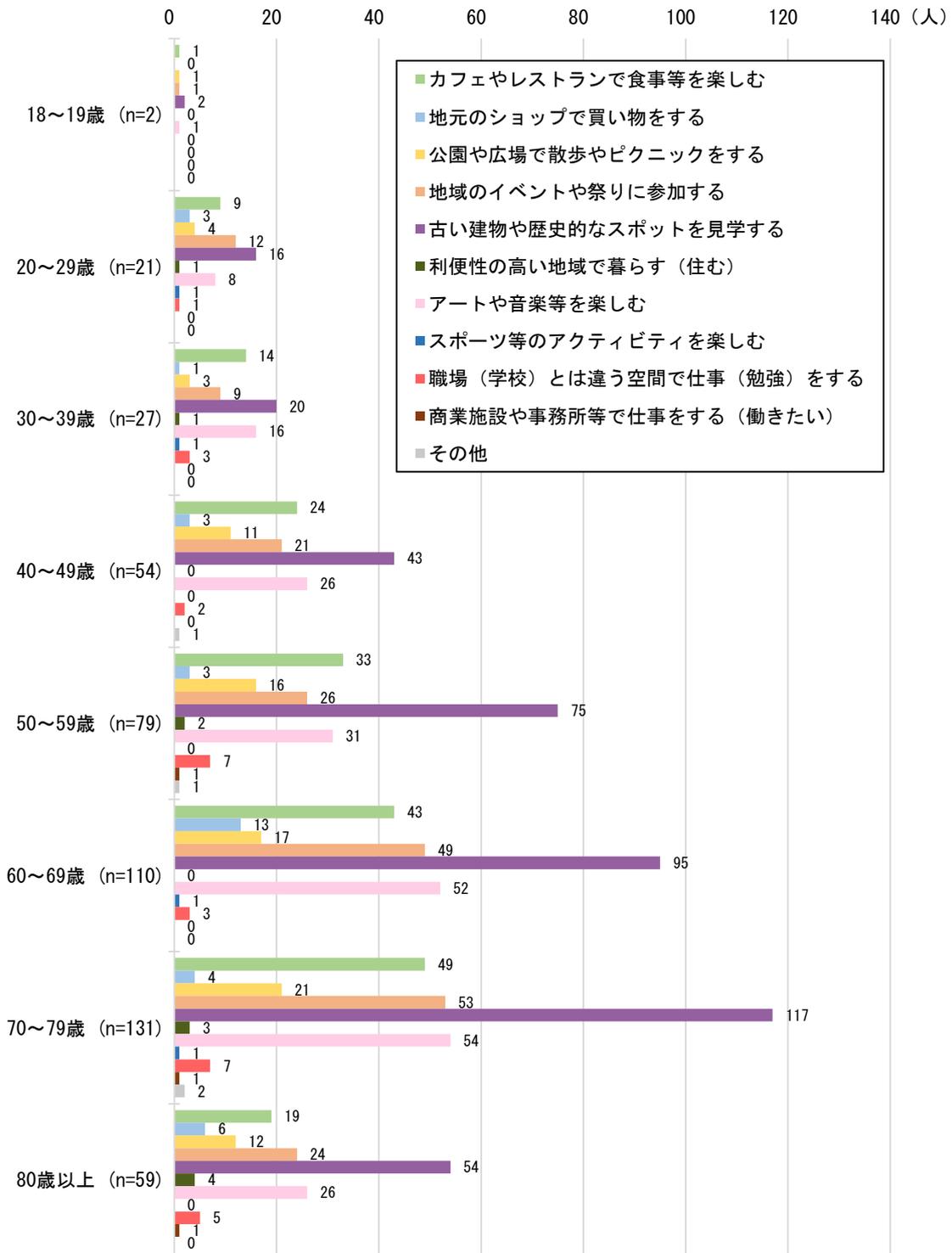
JR 竹原駅周辺

- 各世代とも「カフェやレストランで食事を楽しみたい」「地元のショップで買い物をしたい」「地元のイベントや祭りに参加したい」と考えている人が多い傾向にある。
- 69歳未満の人は「カフェやレストランで食事を楽しみたい」と考えている人の割合が最も高くなっている。70歳以上の人は「地元のショップで買い物をしたい」と考えている人の割合が最も高くなっている。



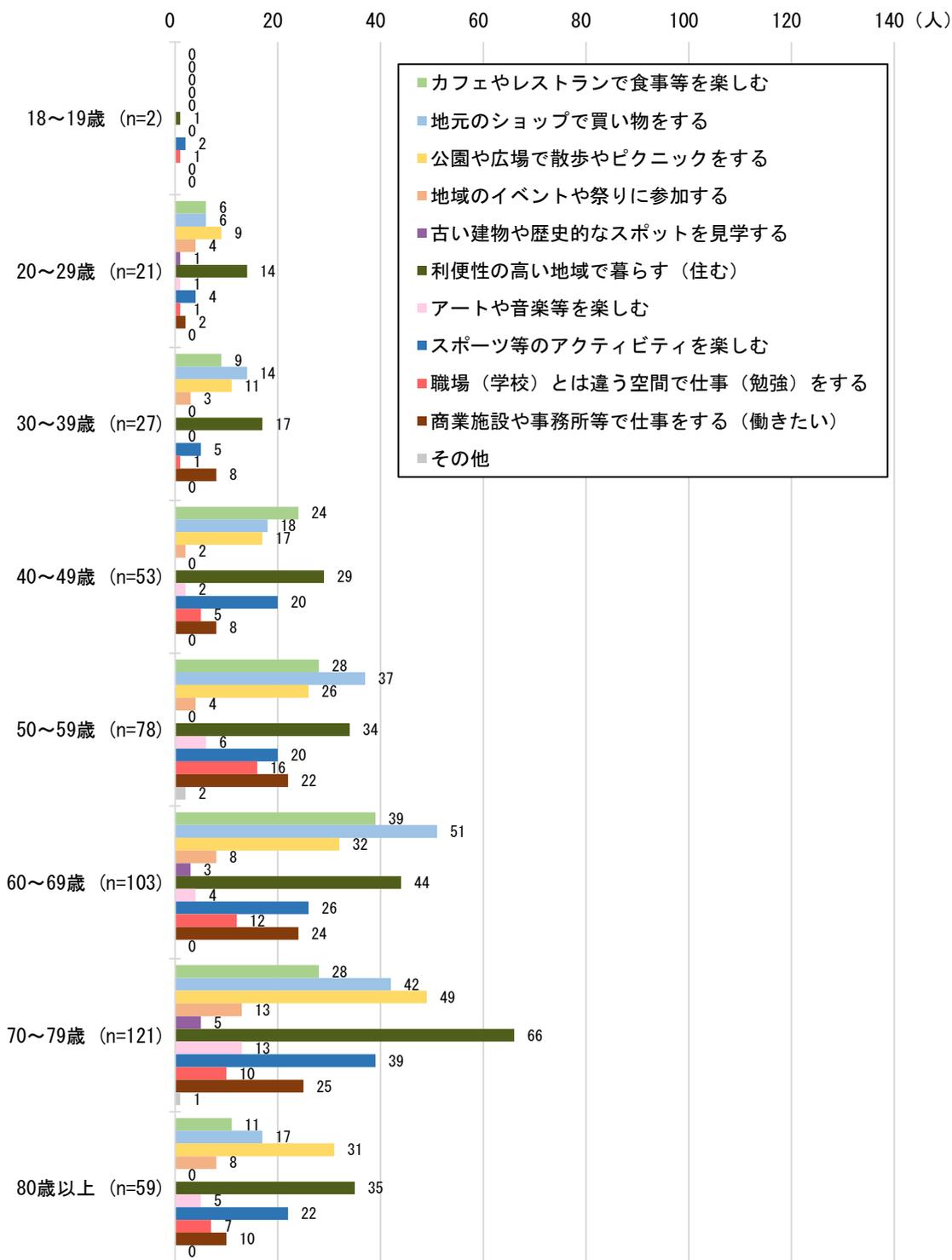
町並み保存地区周辺

- 各世代とも「古い建物や歴史的なスポットを見学したい」「アートや音楽を楽しみたい」「カフェやレストランで食事等を楽しみたい」「地域のイベントや祭りに参加したい」と考えている人が多い傾向にある。



新開地区周辺

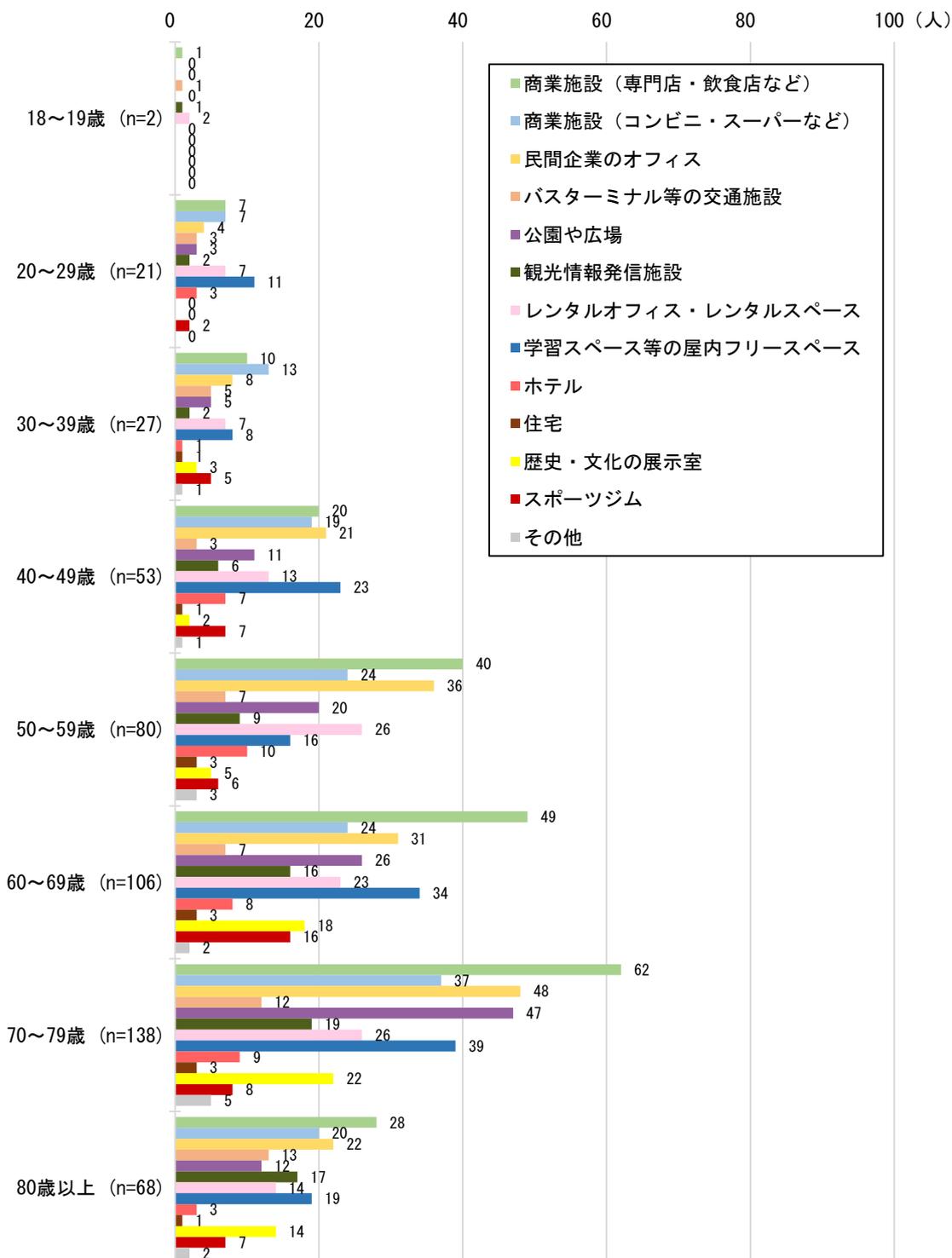
- 各世代とも「利便性の高い地域で暮らす」「地元のショップで買い物をする」「公園や広場で散歩やピクニックをする」「カフェやレストランで食事等を楽しむ」と考えている人が多い傾向にある。
- 50歳～69歳の人には特に地元のショップで買い物をしたいと考えている。また、他の世代に比べて70歳以上の人は公園や広場で散歩やピクニックをしたいと考えている割合が高い。40以上の世代はスポーツ等のアクティビティで楽しみたいと考えている。



問8 今後、上記の過ごし方を行う上で、どのような施設や機能が必要だとお考えですか。

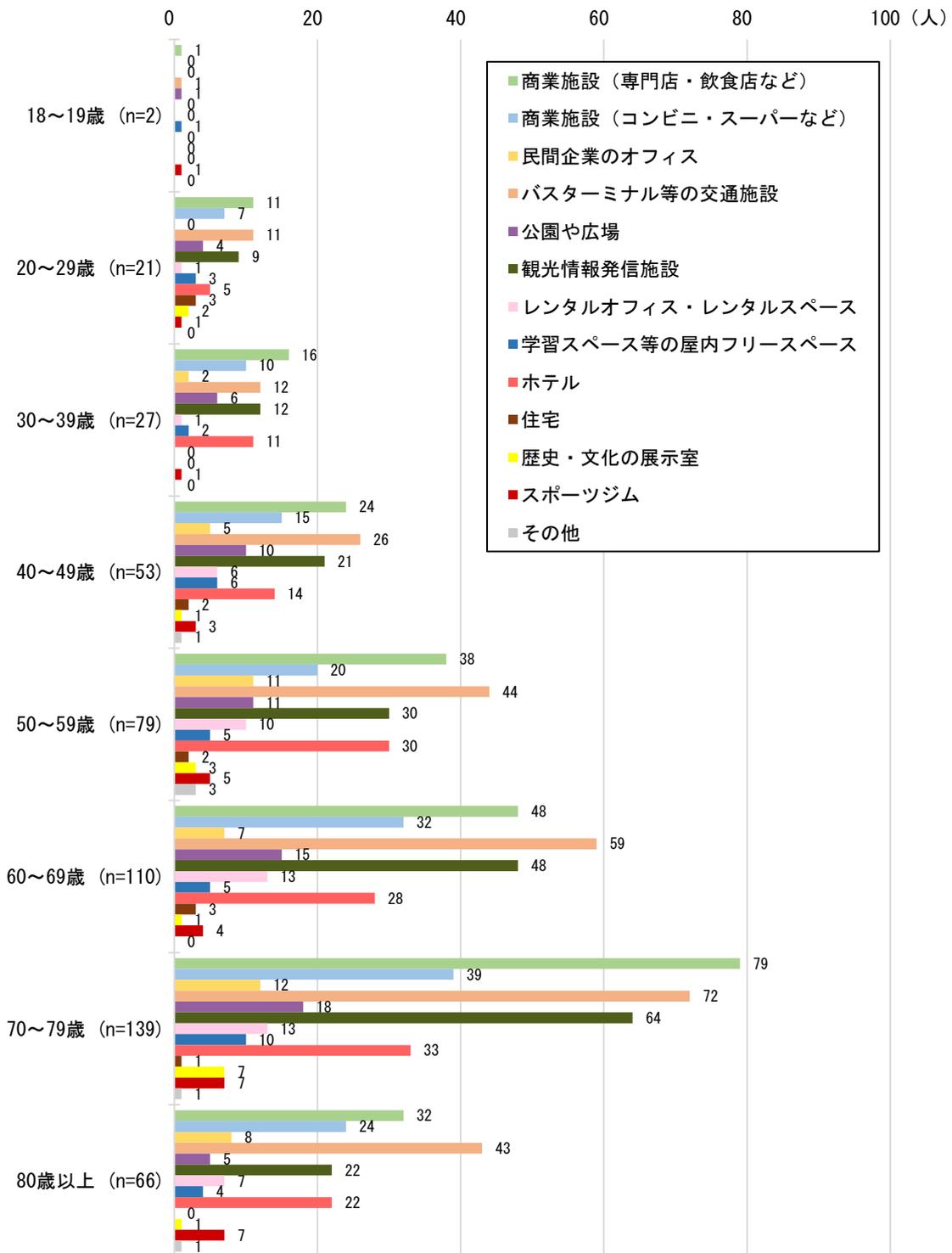
竹原市役所周辺

- 各世代とも「商業施設（専門店・飲食店など）」「商業施設（コンビニ・スーパーなど）」が必要な施設・機能と考えている人が多い。
- 40歳以上の人は「民間企業のオフィス」が必要だと考えている人の割合が高い。
- 20歳代、40歳代は学習スペース等の屋内リースペースを最も必要な機能として考えている。また、他の世代についても屋内リースペースが必要だと考えている。



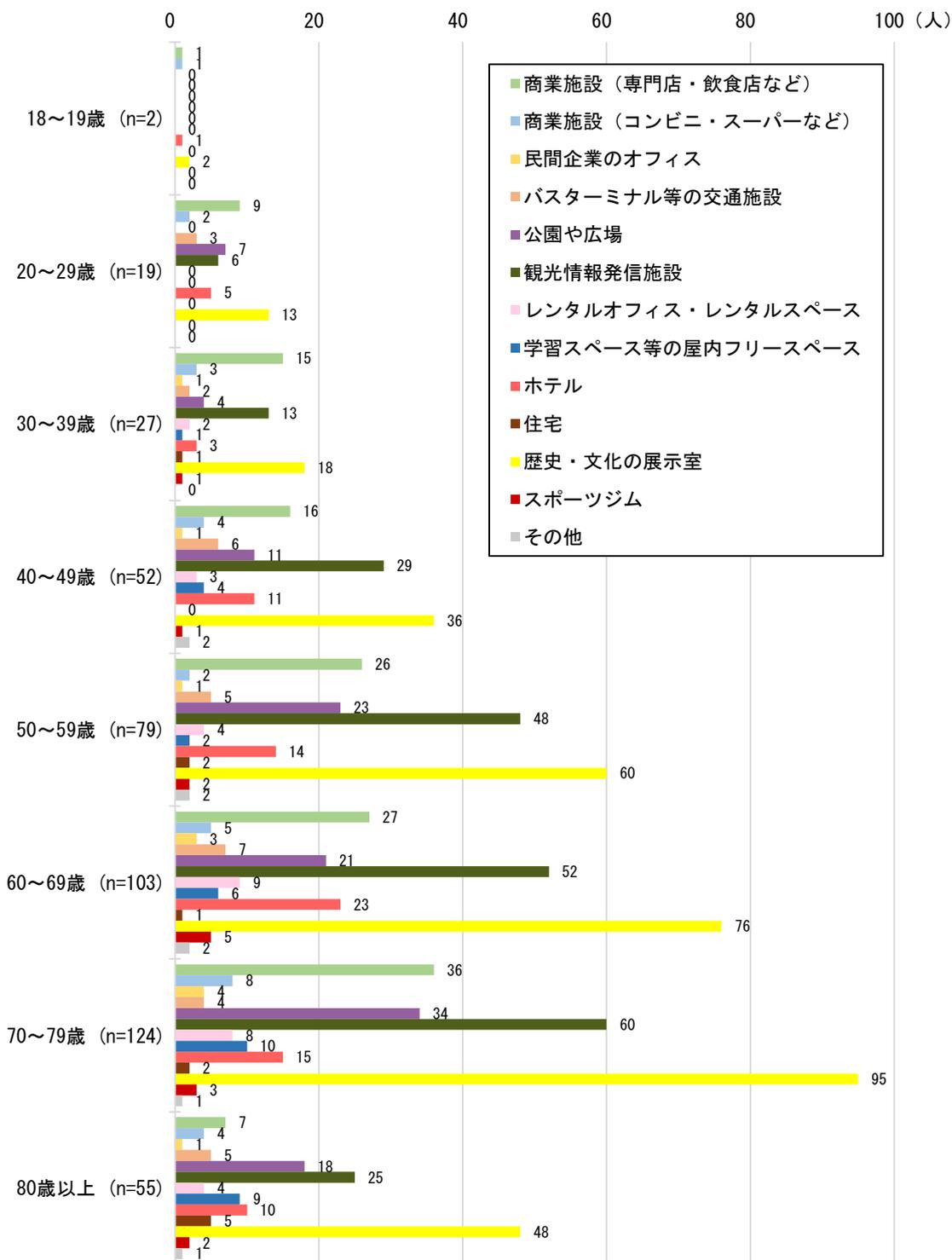
JR 竹原駅周辺

- 各世代とも「商業施設（専門店・飲食店など）」「バスターミナル等の交通施設」「観光情報発信施設」が必要な施設・機能と考えている人が多い。
- 30歳以上の人はホテルが必要機能だと考えている割合が高い。



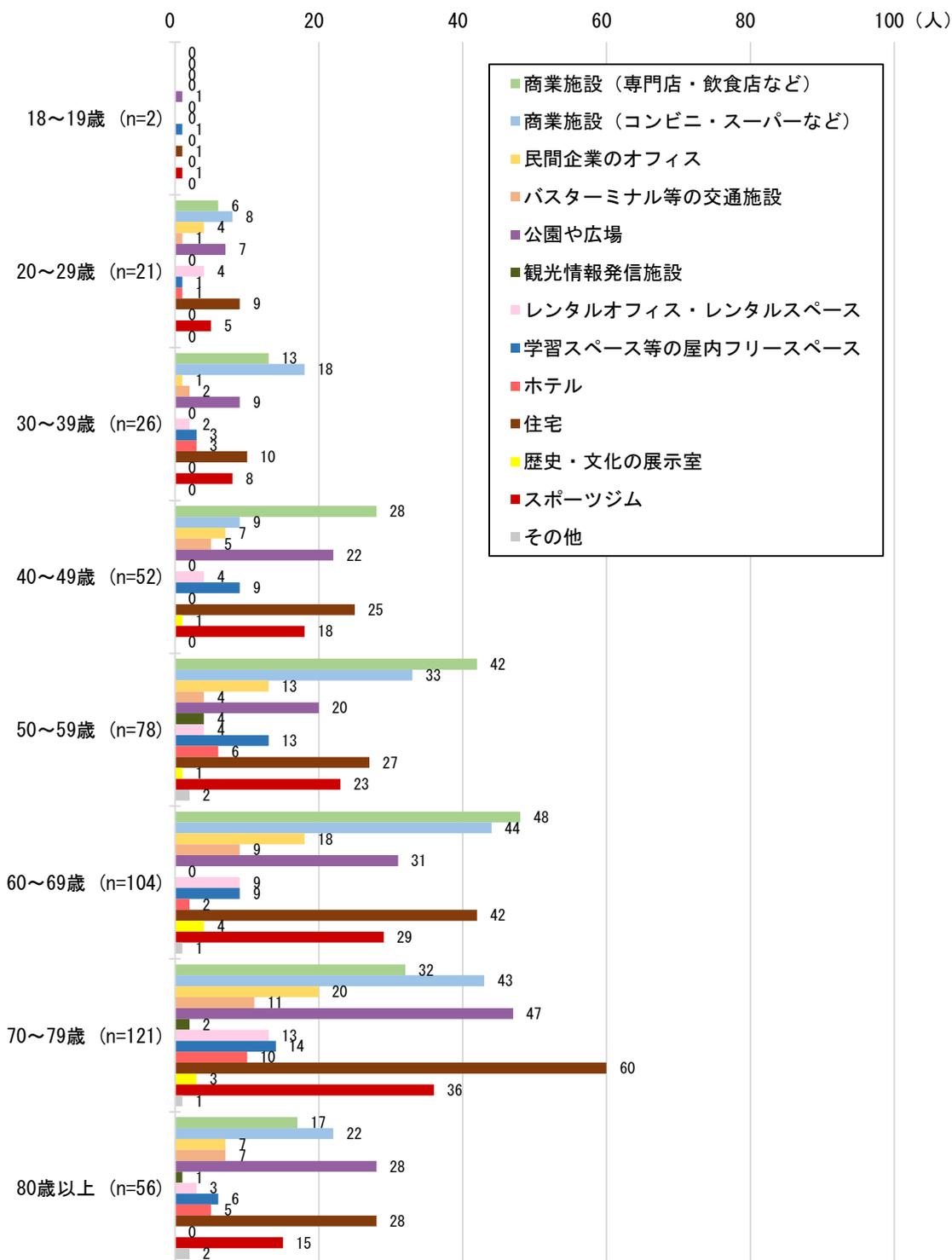
町並み保存地区周辺

- 各世代とも「歴史・文化の展示室」「商業施設（専門店・飲食店など）」「観光情報発信施設」が必要な施設・機能と考えている人が多い。
- 40歳以上の人はホテルが必要だと考えている割合が高い。また、50歳以上の人は公園や広場を必要だと考えている割合が高い。



新開地区周辺

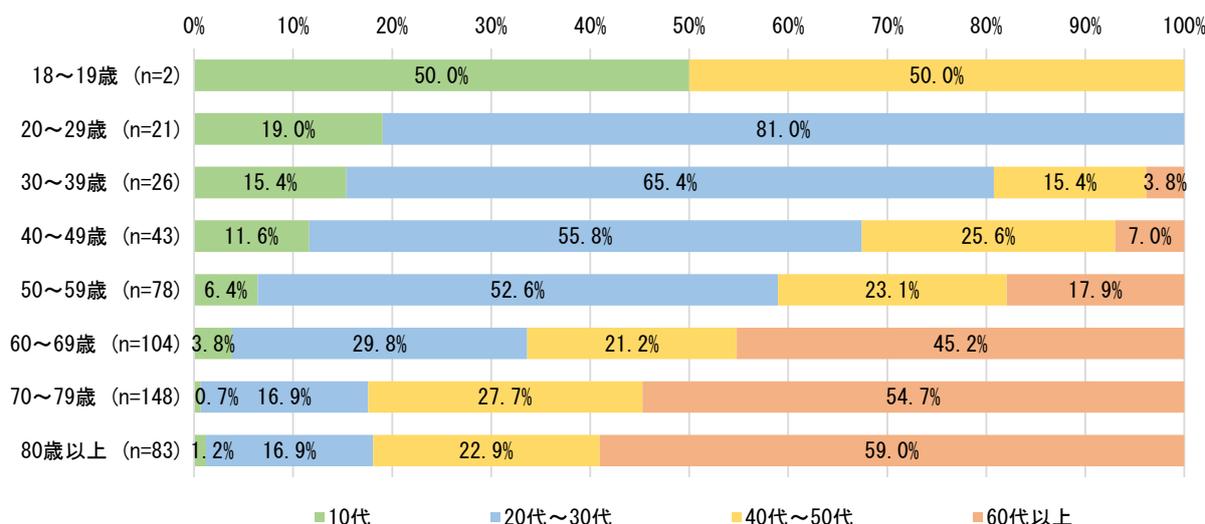
- 各世代とも「商業施設（専門店・飲食店など）」「商業施設（コンビニ・スーパーなど）」「公園や広場」が必要な施設・機能と考えている人が多い。
- 40歳以上の人は最も住宅が必要だと考えている。また、スポーツジムを必要としている割合が高くなっている。



問9 整備する複合施設は、日常的に多くの市民が利用する施設として考えています。こういった人に主に利用してもらいたいとお考えですか。各項目から該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

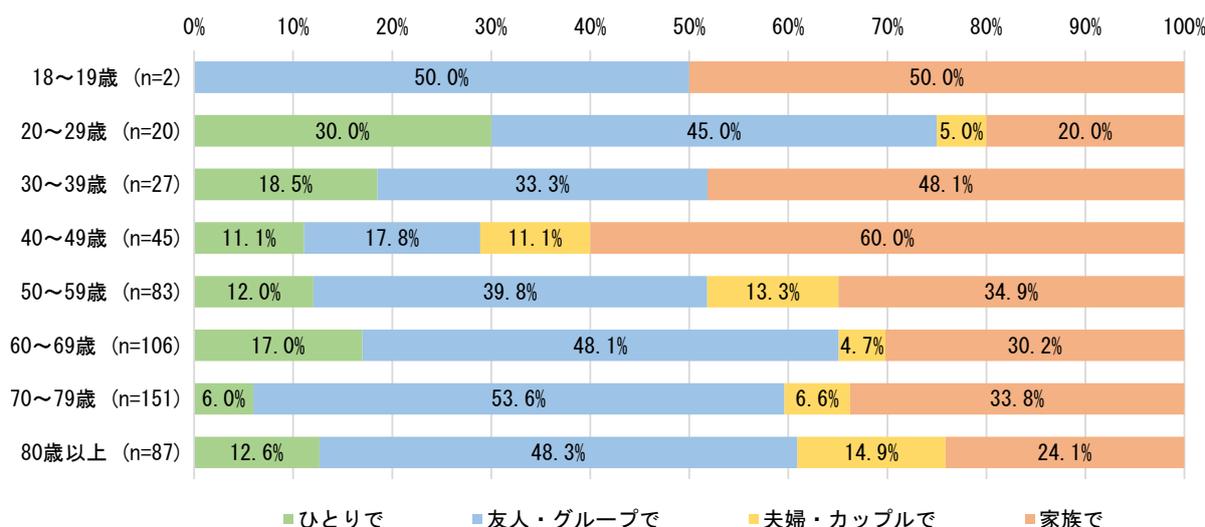
① 年代

- 若者の回答者ほど、若年層を施設の利用者として想定している。
- 同様に高齢者ほど、高齢者層を施設の利用者として想定している。ただし、高齢の回答者においても、若年層を施設利用者として想定している割合がいる。



② 一緒に来る人

- 若年層および高齢層は利用者の形態として、友人・グループを想定する傾向がある。一方、30代～40代の回答者は家族での利用を想定している割合が最も高くなっている。
- 一人での利用を想定する割合は各年代とも概ね10%～20%程度となっている。



3. アンケート調査のとりまとめ

各エリアの方向性、過ごし方、必要な施設・機能の整理

	まちづくりの方向性	将来の過ごし方	必要な施設・機能
竹原市役所 周辺エリア	<ul style="list-style-type: none"> 市民の暮らしを便利で豊かにするような場所 まちなかで人々が憩い、交流できるような場所 	<ul style="list-style-type: none"> カフェやレストランで食事等を楽しむ アートや音楽等を楽しむ 職場・学校とは違う空間で仕事・勉強をする 	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設（専門店・飲食店など） 民間企業のオフィス 学習スペース等の屋内フリースペース
JR 竹原駅 周辺エリア	<ul style="list-style-type: none"> 市内外から多くの人々が訪れ、賑わいを生み出すような場所 まちなかで人々が憩い、交流できるような場所 	<ul style="list-style-type: none"> カフェやレストランで食事等を楽しむ 地元のショップで買い物をする 地域のイベントや祭りに参加する 	<ul style="list-style-type: none"> バスターミナル等の交通施設 商業施設（専門店・飲食店など） 観光情報発信施設
町並み保存地 区周辺エリア	<ul style="list-style-type: none"> 市内外から多くの人々が訪れ、賑わいを生み出すような場所 まちなかで人々が憩い、交流できるような場所 	<ul style="list-style-type: none"> 古い建物や歴史的なスポットを見学する アートや音楽等を楽しむ 地域のイベントや祭りに参加する 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化の展示室 観光情報発信施設
新開地区周辺 エリア	<ul style="list-style-type: none"> まちなかでの居住を進める場所 産業を育み、地元で働く人を増やすような場所 	<ul style="list-style-type: none"> 利便性の高い地域で暮らす 地元のショップで買い物をする 公園や広場で散歩やピクニックをする 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅 商業施設（専門店・飲食店など） 商業施設（コンビニ・スーパーなど） 公園・広場

各エリアのまちづくりの考え方

【中心市街地のまちづくり】

- 中心市街地のまちづくりの方向性として、「竹原市役所周辺」や「新開地区周辺」は市民生活に寄与する空間となることが求められている。一方、「JR竹原駅周辺」や「町並み保存地区周辺」は来訪者を含めた賑わい創出に寄与する空間となることが求められている。そこで、市民と来訪者が集い、交流できる空間を中心市街地につくることで、効果が波及し全域の賑わいが向上すると考えられる。
- また、まちづくりの方向性や過ごし方等は年代問わず概ね同様の傾向があり、それぞれのエリアで幅広い年齢層の人が同時に滞在することが見込まれる。そこで、多世代にとって魅力ある中心市街地とすることが重要である。
- 各エリア想定される過ごし方をより充実するためには、エリア間の連携を強化することが望ましい。そのため、それぞれのエリアを道路ネットワーク等で接続し、駐車場の確保や移動しやすいモビリティ等を活用することで、回遊性の向上が重要である。

【竹原市役所周辺エリアのまちづくり】

- 「市民の暮らしを便利で豊かにする場所」や「まちなかで人々が憩い、交流できるような場所」となることが強く求められており、食事やアート、音楽等を楽しんだり、職場等とは違う空間で仕事等をして過ごしたい、このエリアで働きたいなど、他のエリアに比べて多くの過ごし方のイメージがされている。このことから、様々な過ごし方ができる空間や施設が求められている。
- 複合施設の整備に当たっては、竹原市の象徴となり、若者から高齢者まで幅広く利用できる施設として整備することが求められている。また、中心市街地は浸水災害のリスクが高いため、災害時の避難拠点としての活用が望まれている。
- 複合施設の整備に当たっては、市の実態に見合った規模・事業費での整備や駐車台数の確保、周辺の交通環境の維持が特に懸念されており、現在の施設の利用状況や将来の利用者数の想定等に留意して検討する必要がある。

【JR竹原駅周辺エリアのまちづくり】

- 「市内外から多くの人々が訪れ、賑わいを生み出すような場所」や「まちなかで人々が憩い、交流できるような場所」として、食事や買物、イベントや祭りへ参加等が求められている。このことから、既存施設の充実や関連する施設の誘導、イベントの拡充等により、エリアの活力創出が求められている。
- 鉄道や路線バス等の公共交通機能が集積しているエリアであるため、交通施設の整備が強く求められている。特に高齢者ほど交通施設の整備を望む傾向となっており、施設整備により高齢者等の外出機会が増え、エリアの賑わい創出が見込まれる。
- また、交通利便性の高いエリアであるため、ホテル等の宿泊施設が求められており、市内回遊の中心となることが見込まれる。

【町並み保存地区周辺エリアのまちづくり】

- 「市内外から多くの人を訪れ、賑わいを生み出すような場所」として、古い建物や歴史的なスポットの見学、アートや音楽等を楽しむ、イベントや祭りへの参加、食事を楽しむ空間としての整備が求められている。特に古い建物や歴史的なスポットの見学はこのエリアの象徴となっていることから、建造物の維持管理、積極的なPRが重要である。
- 竹原市役所周辺エリアと同様にアートや音楽等を楽しむ空間として過ごしたいと考えている人が多いが、本エリアの特性を踏まえると歴史的な芸術・文化に触れられる空間となることが望ましいと考えられる。

【新開地区周辺エリアのまちづくり】

- 「まちなかでの居住を進める場所」や「産業を育み、地元で働く人を増やすような場所」として、利便性の高い地域で暮らす、ショップで買物、公園や広場で散歩やピクニックを楽しむ空間としての整備が求められている。土地区画整理事業を実施しているエリアであることから、引き続き住宅や商業施設、公園・広場の集積を図ることが重要である。
- また、健康のためスポーツジムや運動のできる公園や広場の整備を望んでいる年代も多く、本市の健康寿命延伸に向けた取組が重要である。